

平成22年第4回臨時庁議要旨

日時：平成22年10月8日（金）

午前9時

会場：庁議室

[審議事項]

1 平成23年度予算編成方針について（総務部財政課）

財政の健全な運営及び事務の計画的・効率的な遂行を行うため、平成23年度予算編成にあたって、歳入の確保、経費節減及び実施計画の取り組み等その基本方針を取りまとめ予算編成説明会を通して職員へ周知する。

(1) 主な内容

ア 予算編成の方針

(ア) 基本方針

平成28年度以降段階的に削減される地方交付税（約33億円）を見据えた財政運営を行うため、一般財源の確保と経常的経費の節減に向けた歳入歳出予算の総点検を行い、引き続き歳入に見合った歳出予算の編成を目指す。

総合計画リーディングプロジェクトを中心とした総合計画実施計画を確実に実行するための政策的一般財源を確保し、限られた財源の効率的な運用と緊急性の高い施策に重点的な予算配分を行いながら、平成28年度に向けた準備期間のスタート1年目とすることを予算編成の基本方針とする。

(イ) 石巻市行財政改革プランの確実な実行

歳入面では、昨年度に引き続き各種特定目的基金を最大限活用するほか、滞納整理の市税等収納向上強化対策や公債費削減のための市債発行の抑制を図る。

歳出面では、現在策定中の「石巻市行財政改革推進プラン」を確実に実行することにより、一般財源の確保及び経常的経費の節減を行う。

(ウ) 総合計画リーディングプロジェクトを中心とした総合計画実施計画の推進

総合計画リーディングプロジェクトは他の事業より優先、実施計画をローリングしながら調整し実施することとし、予算編成においても最優先事項として取り組む。

総合計画実施計画査定に基づき、同計画を推進するための政策的一般財源の総額（10億円）は財政収支見通しの中で確保する。

(2) 今後の予定

ア 予算編成及び行財政改革推進プラン説明会（平成22年10月15日）

イ 当初予算要求書提出期限（平成22年11月12日）

ウ 所属長ヒアリング及び担当者ヒアリング（平成22年11月中旬から12月初旬）

エ 総務部長査定（平成23年1月上旬）

オ 市長査定（平成23年1月中旬）

カ 裁定通知（平成23年1月下旬）

2 石巻市過疎地域自立促進計画及び河南・桃生地域振興計画の策定について（企画部総合政策課）

(1) 計画の目的

過疎地域として指定されている地域について、将来に向けての生産機能及び生活環境の整備をどのように進め、自立促進を図っていくか、過疎計画を策定し対外的に示す。

また、過疎地域のみならず、河南・桃生地域についても効果的な地域振興策を進めるため、市独自に過疎地域に準じた振興計画を策定する。

(2) 計画期間

平成22年度～平成27年度（6年間）

(3) 対象地区】

河北地区、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区（過疎地域）

※河南・桃生地域についても、過疎地域と同様にまちづくり委員会へ諮問し、河南・桃生地域振興計画として過疎計画と併せて策定することとする。

(4) 計画書の構成

ア 基本的事項

(ア) 市の概況、(イ) 人口及び産業の推移と動向、(ウ) 行財政の状況

(エ) 地域の自立促進の基本方針、(オ) 計画期間、(カ) 計画の見直し

イ 産業の振興

ウ 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

エ 生活環境の整備

オ 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

カ 医療の確保

キ 教育の振興

ク 地域文化の進行等

ケ 集落の整備

コ その他地域の自立促進に関し必要な事項

(1) 現況と問題点
(2) その対策
(3) 計画
上記内容をそれぞれ記載

(5) 今後の予定

10月12日以降 各地域まちづくり委員会へ諮問

10月15日 県と内協議

10月15日～10月27日 パブリック・コメントの募集（予定）

11月上旬 各地区まちづくり委員会から答申（予定）

11月中旬 計画書最終案を庁議幹事会・庁議に提案

11月中旬 県と本協議（予定）

11月中旬 県から承認通知（予定）

11月下旬 市議会全員協議会で報告（予定）

12月議会 計画書議案を提案

※ 県との協議、パブリックコメントの募集及び市議会への提案は、過疎計画のみである。

【報告事項】

1 牡鹿地区でのミンク鯨生肉住民頒布による食中毒の発生について（牡鹿総合支所地域振興課）

牡鹿地区で発生した、調査捕鯨の生鮮鯨肉による食中毒について、平成22年10月3日と4日に、牡鹿地区の住民に対し説明会を開催した。

会場は、9月21日の鯨肉頒布の対象となった地域にある7か所の集会所で、合計119人の市民が出席した。

現在、石巻保健所では患者の便や本市が提供した鯨肉などの検体を県の保健環境センターに依頼して、検査を継続しているが、これまでのところ、食中毒の原因の特定までには至っていない。

(1) 今後の予定

ア 鯨肉代金の返還事務

イ 原因の特定とそれを踏まえた対応策の検討

ウ 発症者への対応の調整

[その他]

1 重点分野雇用創造事業及び緊急雇用事業の追加事業の募集等について（産業部商工観光課）

現在、重点分野雇用創造事業及び緊急雇用事業の追加事業の募集を行っているので、出来るだけ多くの職員から提案いただき、各部で取りまとめの上、10月14日まで担当課に回答をお願いします。

2 「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントについて（建設部）

現在、国（内閣官房）において、予算編成過程の透明化を進め、国民の声を予算編成に反映させる試みとして「元気な日本復活特別枠（政策コンテスト）」要望に関するパブリックコメントを実施している。

については、各部、各課における意見について、10月19日までに内閣官房あて応募願いたい。

3 金華山における観光客の救助について（牡鹿総合支所地域振興課）

10月4日（月）に20代の男性観光客が金華山において道に迷い、本人から携帯電話により救助依頼があった。

宮城県の防災ヘリの出動を要請し、防災ヘリにより無事救出された。

以上